

STOP 辺野古に統領に届 米



Stop the landfill of Henoko / Oura Bay until a referendum can be held in Okinawa

Created by Rik on December 08, 2016

Sign This Petition
Request to Stop the Landfill of Henoko / Oura Bay until a referendum can be held in Okinawa.

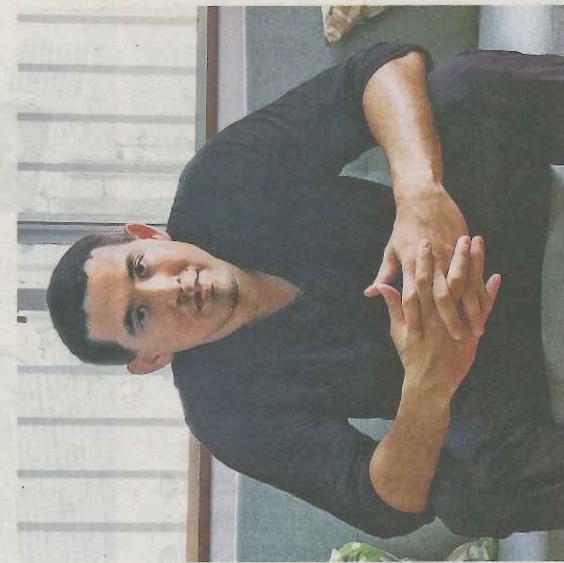
President Trump: Please stop the landfill in Okinawa and a democratic referendum can be held. Below this seal, the Okinawan people express their principles of democracy, freedom, and peace. The Bay is crucial part of Okinawa's ecosystem. However, the Japanese government & U.S. military have so far neglected the Okinawans' right to self-determination. We demand that the U.S. government respect the Okinawans' right to self-determination and stop the construction of the Henoko / Oura Bay landfill immediately.

ホワイトハウスへの請願の流れ

2018年12月8日	電子署名開始(期間は30日間)
14日	辺野古に土砂投入開始
19年1月7日	署名期間終了(10万筆以上ならホワイトハウスが検討し、60日以内に回答)
2月24日	沖縄県で県民投票
3月8日から3月8日まで	ホワイトハウスから回答?

- 辺野古新基地の工事停止を求めるホワイトハウスの請願サイト
- 署名活動を始めたロブ・カジワラさん=本人提供

既に6万筆 10万到達で米政府回答



ロブ・カジワラさん=本人提供

「署名を」沖縄リツハイの4世

米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）移設に伴う名護市辺野古の新基地建設を巡り、ハワイ在住で沖縄出身者の血を引く日系四世の男性が、新基地の是非を問う来年二月二十四日の県民投票まで、工事を停止するようトランプ米大統領に求める電子署名を呼び掛けている。署名開始から三千日以内に十万筆に達すれば、ホワイトハウスが対応を検討し、六十日以内に回答する制度を活用した。（島袋良太、村上一樹）

署名集めを始めたのは、作曲家ロブ・カジワラさん（30）。母方が沖縄県中城村の出身で、沖縄の文化や歴史に触れるため、二二知事が新基地建設反対を掲げて知事選に勝利したのに、日本政府が在日米軍は玉城氏や県民の意思を無視していると指摘。トランプ氏に「民主主義を優先して工事の停止を命じ、米国が眞に尊敬に値する偉大な国だと示してほしい」と訴える内容だ。

嘆願書の表題は「沖縄の真面目投票実施まで、辺野古・大浦湾の埋め立て停止を」。玉城デタラビタが来県している。署名は「WE the PEOPLE」で今月八日から開始。期限は来年一月七日だ。

「ウチナーンチュの今世界に伝える」

カジワラさんは本紙の取材に「辺野古の現状を深く憂慮し署名活動を始めた。沖縄出身か海外出身かにかかわらず、全てのウチナーンチュ（沖縄の人）は共通の絆で結ばれている」と動機を語る。米政府サイトへの請願については「彼らにしつかりと届く方法で伝える必要がある。私たちは沖縄で何が起こっているのかを、世界に伝えなければならぬ」と強調した。

米政府に請願する権利は合衆国憲法修正第一条に定められている。オバマ政権時に、世界中の人が米政府に直接働き掛ける仕組みとして、請願サイトを導入。十二歳以上なら居住地や国籍に関係なく署名できる。

署名は、サイトで名前とメールアドレスを入力。確認のメールが届いた後、指定されたリンクをクリックすれば完了する。日本時間十六日午後七時時点では六万筆超が集まっている。

来月7日まで

署名のアドレスは次の通り。<https://petitions.whitehouse.gov/petition/stop-landfill-henoko-oura-hay-until-referendum-can-be-held-okinawa>